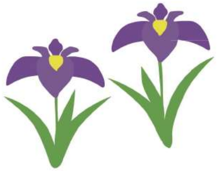
# あやめサミットin厚岸

## ～繋ぐ、咲かせる、地域の絆。11年ぶり、厚岸へ～

初夏のあやめヶ原を彩るヒオウギアヤメ。その美しい景観を有する厚岸町で、平成27年以来、11年ぶりとなる『あやめサミット』が開催されました。美しいあやめの花が結ぶ交流の輪。全国の関係自治体が集い、交流を深めるこの機会を通じて、観光、まちづくりなどをテーマに自然と地域の未来について考えました。



▲厚岸町役場議場での会議の様子

### あやめサミットとは

全国市町村あやめサミット連絡協議会は、あやめ（はなしょうぶ、かきつばたを含む）を慈しむ自治体が、あやめの調査・研究のほか、市町村相互の交流を促進し、あやめを通じた個性豊かなまちづくりに役立てることを目的として開催する会議です。

加盟自治体の首長で構成（現在11市町が加盟）され、毎年加盟自治体が持ち回りでサミットを開催しています。

また、同協議会では『災害時における自治体間の相互応援に関する協定』を締結し、平成23年の東日本大震災の際には、この協定に基づき被災自治体への人的・物的支援や避難所の提供などが実施されました。

### サミットの会議内容

6月27日㈯、厚岸町で全国市町村あやめサミット連絡協議会関係首長会議が開催され、協議会に加盟する11自治体のうち、厚岸町を含め全国から10自治体26人が参加しました。会議では各自治体から『あやめを含む地域の観光資源を活かした取り組み』について紹介されたほか、原生花園あやめヶ原や厚岸蒸溜所を視察しました。

また、茨城県潮来市と千葉県香取市、同県佐倉市の3市では、それぞれ催しているあやめまつりに併せ、連携したデジタルスタンプラリーの開催やホテルのレストランで3市の食材を活用したフェアの実施などの取り組みについて発表がありました。

一方で、宮城県多賀城市では、あやめまつり期間中の2日間、市内で活動している団体の発表や体験コーナーの出展を行い、同団体の文化資源も重要な観光資源の一つと位置付けて取り組みをしているなどの発表がありました。それぞれの自治体にとって、新たなまちづくりの可能性を探る有意義な会議となりました。



### あやめサミット加盟11自治体

▲令和5年度から7年度までの間に整備した
あやめヶ原の『ゲート』および『木柵』

▲令和7年度に整備したあやめヶ原の『あずまや』

### 原生花園あやめヶ原

令和3年3月30日に厚岸道立自然公園とその周辺地域が『厚岸霧多布昆布森国定公園』に指定されたことを受け、北海道の自然公園等整備事業補助金を活用して、豊かな自然環境の保全と安全・快適な利用などを両立させるための施設整備などが可能となりました。

町ではこの補助金を活用して、令和5年度から令和7年度までに原生花園あやめヶ原の既存の木柵撤去と再整備を進めたほか、中央展望台を撤去した上で、新たにあずまやを整備しました。令和8年度も入り口ゲートの再整備や西側展望台などを整備する予定です。